

令和6年度

事業報告書

事業概要（総括）

長く続いた新型コロナウイルス感染症も概ね収束し、令和6年度は観光客やMICE開催もコロナ禍前の水準まで回復してきました。新潟駅の構内に移転・リニューアルオープンした「新潟市観光案内センター」は、連日多くの来場者で賑わっています。7月には「佐渡の金山」が世界遺産に、12月には「伝統的酒づくり」がユネスコ無形文化遺産にそれぞれ登録されるなど、明るい話題も続きました。

こうした状況を好機と捉え、関係機関・業界との連携を深めながら、さらなる交流人口拡大と地域経済活性化に向け、国内外からの誘客促進やMICE開催支援など、積極的に事業を展開しました。

令和6年度に取り組んだ三本の柱

1. 「食と花と酒」「みなとまち文化」「豪農文化」を活かした観光コンテンツの充実

食・花・酒や、料亭・古町芸妓を中心としたみなとまち文化、北方文化博物館に代表される豪農文化など、新潟の強みを生かした観光コンテンツを活用し、着地型旅行商品や団体・個人向け商品を企画・実施しました。あわせて、国内外の観光需要の喚起に取り組みました。

2. 都市の拠点性を活かした広域的な連携による国内外からの誘客

高速交通体系や結節点としての都市機能を活かし、海外誘客では他都市と連携した広域観光ルートの構築を継続し、インバウンド回復に向けた取り組みを進めました。また、国内誘客では近県や首都圏、さらには定期航空路就航地を中心にセールス活動を行いました。

3. コンベンション関係機関やMICE支援策を活用した「MICE」誘致の推進

ハイレベル国際会議の開催実績を持つ会議場をはじめ、良好な交通アクセス、充実した宿泊施設など、本市のMICE開催環境の優位性をPRし、コンベンション開催補助金や各種支援制度も活用しながら、誘致及び受入支援を行いました。新潟市文化・スポーツコミッションでは、各種大会や合宿、イベント等の誘致・支援に取り組みました。

公益目的事業

I 観光事業

64,969,710円

1. 観光PR事業

(1) 情報発信事業

5,197,015円

新潟市観光情報サイト「旅のしおり」及び、その外国語版である「Niigata City official Travel Guide」を運営・更新し、旬な観光情報の発信に努めた。特に「にいがた観光親善大使」等を活用したお勧めスポット・グルメ等の特集記事を20本以上掲載し、サイトの内容充実を図った。

また、インスタグラムにおいてもタイムリーかつ継続的な写真投稿により新潟市の魅力の発信に努めた。

- ・ユーザー数：1,009,862（前年度 780,125）
- ・表示回数：1,911,267（前年度1,560,621）
- ・インスタグラムフォロワー数：5,490人（前年度 4,700人）

新潟市の観光に関する写真・画像データを専用ウェブサイト「新潟市観光フォトライブラリー」で公開し、新潟へのツアーを造成する旅行会社や各種メディア、印刷会社等に無料で貸し出すとともに、写真掲載による新潟市のアピールに努めた。

- ・フォトライブラリー貸出件数：617件（前年度 567件）

(2) 広告展開事業

1,254,500円

新潟市の観光の魅力を発信し、県内外からの誘客を促進するため、SNSやマスメディアへの広告出稿を行った。また、新潟の魅力を対外的にアピールするためプロモーション動画を制作するとともに、セールス等で配布するノベルティ等を作成した。

<広告関連>

- ・昭文社まっふる「新潟・佐渡 2024-2025」への広告掲載

<プロモーションツール作成>

- ・プロモーション動画制作
- ・新潟柳都古町芸妓2025年版カレンダー 200本

(3) にいがた観光親善大使派遣事業

4,138,684円

県内外での観光キャンペーンや新潟市で開催されるコンベンション等で新潟市の観光PRを行うため、「第15代にいがた観光親善大使」3名を選出した。新型コロナウイルスの影響により減少した県外への派遣依頼も回復傾向が見られ、活動件数は、昨年度より増加した。

<選出事業>

応募者数：32名（女性：31名 未回答：1名）（前年度 31人）

- ・予選会 実施日：令和6年7月7日（日）
- 会場：ホテルオークラ新潟

- ・最終選考会 実施日：令和6年7月19日（金）
会 場：ホテル日航新潟

<派遣事業>

- ・活動件数

令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
92件	90件	86件	64件	20件

(4) 日本開港五都市観光交流事業

429,497円

日本開港五都市（函館・横浜・神戸・長崎・新潟）観光協議会に参加し連携を深めた。令和6年度は新潟市が幹事都市として幹事会を主催したほか、トキエアの新潟－神戸線の就航に合わせ、神戸観光局と合同で観光PRを実施し誘客促進を図った。

<日本開港五都市観光協議会幹事会>

開 催 日：令和6年11月14日（木）

開 催 都 市：新潟市（NINN03 会議室）

視 察：新潟市観光案内センター、ぼんしゅ館

エキスカッション：佐潟、高野酒造（酒蔵見学）、カーブドッチワイナリー

<新潟まつり>

- ・にいがた観光親善大使による住吉行列への参加

<トキエア 新潟－神戸線就航>

- ・神戸市で開催された「第30回神戸ルミナリエ」に新潟市と共同で観光PRブースを出展（令和7年1月26日）
- ・新潟市で開催された「にいがた酒の陣2025」に神戸市観光局と共同で観光PRブースを出展（令和7年3月8日）

2. 観光誘客事業

(1) 食と花の交流プログラム推進事業

2,227,150円

オープントップバス「宙バス」、レトロなボンネットバスを活用した着地型旅行商品の企画に加わるとともに、みなとまち新潟の観光資源や食、花、酒の魅力などを活かしたコース運行に対して協賛を行った。

<運行実績>

- ・運 行 月：令和6年5月～令和7年2月
- ・運行本数：27本（前年度16本）
- ・乗車人数：419人（市内235人、県内131人、県外53人）※前年度349人

(2) みなとまち新潟観光推進事業

7,044,690円

みなとまち新潟の魅力発信として、その象徴的存在である古町芸妓を活用した団体向け着地型プラン「新潟古町芸妓の舞鑑賞」、料亭・割烹での昼食と古町芸妓の舞鑑賞を組み合わせたプラン「ランチ付新潟花街茶屋」の企画販売を行った。

<実施実績>

- ・首都圏商談会 : 2回
- ・新潟市内商談会 : 1回
- ・産直市出展 : 1回 (JR大宮駅)

年度	古町芸妓の舞 (団体)				花街茶屋 (個人)				
	参加者数	実施回数	国内	海外	参加者数	実施回数	市内	市外	海外
令和4年度	591人	29回	79.3%	20.7%	629人	29回	58.7%	41.3%	0%
令和5年度	968人	43回	67.4%	32.6%	591人	20回	70.1%	27.8%	2.2%
令和6年度	761人	32回	56.9%	43.1%	389人	15回	73.3%	23.9%	2.8%

(3) 古町芸妓を活用した旅行商品造成事業

215,000円

国内外の観光誘客の促進、観光コンテンツとしての新潟古町芸妓の活用拡大、ナイトタイムエコノミーの醸成等を目的に、料亭等で新潟古町芸妓の舞と食事をセットにした旅行商品を造成・実施した旅行会社に対して、催行実績に応じて助成金を交付した。

- ・申請件数 : 38件 (前年度 : 22件)
- ・助成(催行)件数 : 15件 (前年度 : 20件)
- ・送客人数 : 472人 (前年度 : 643人)

(4) 国内プロモーション・セールス事業

359,070円

首都圏・近県の旅行会社に対し、「食事付き古町芸妓鑑賞助成金」などの支援事業を活用しながら、商談会への参加やエージェントへのセールスコールを実施し、旅行商品造成の促進を図った。また、NTT東日本およびJA新潟などと連携しているフードリアルハーバー連携事業にて、首都圏で実施された産直市に出展し、BtoCへのプロモーションを実施した。

(5) 国内航空路集客事業

704,318円

新潟空港と定期路線で結ばれている各都市からの誘客を図るため、新潟県観光協会主催の商談会へ参加するとともに、現地旅行会社へのセールスコールを実施した。

<新潟県観光協会商談会参加およびAGTセールス>

- ・名古屋商談会 : 1回
- ・大阪商談会 : 2回

<国内航空路現地旅行会社セールスコールの実施>

- ・仙台 AGT セールス：1 回
- ・札幌 AGT セールス：1 回
- ・福岡 AGT セールス：1 回

<国内旅行会社エージェントの招へい>

- ・実施回数：1 回（札幌）

（参考）新潟空港利用状況

	令和 6 年度		令和 5 年度		対前年度比	
	利用者数 (人)	利用率 (%)	利用者数 (人)	利用率 (%)	増減 (人)	比率 (%)
札幌線	219,667	64.8	184,723	69.9	34,944	118.9
仙台線	21,656	30.8	0	—	21,656	—
成田線	0	—	0	—	0	—
名古屋線	73,044	63.7	72,648	61.1	396	100.5
中部国際	8,843	46.0	0	—	8,843	—
名古屋（小牧）	64,201	67.3	72,648	61.1	▲8,447	88.4
大阪線	539,776	74.3	566,161	71.7	▲26,385	95.3
神戸線	164	56.9	2,519	78.9	▲2,355	6.5
福岡線	124,287	78.2	123,823	77.2	464	100.4
沖縄線	49,003	61.8	48,962	60.9	41	100.1
臨時・チャーター	1,794	66.9	4,378	70.1	▲2,584	41.0
合計	1,029,391	69.0	1,003,214	70.5	26,177	102.6

（6）訪日外国人集客事業

4,719,548円

国のビジット・ジャパン事業や新潟インバウンド推進協議会事業、新潟市の誘客事業などと連携し現地セールスコールを実施した。また、旅行会社に新潟の拠点性や観光情報を提供することで、旅行商品の企画造成を促進するなど、外国人観光客入込客数、宿泊者の拡大を図った。

首都圏からの訪日外国人の誘客促進では、新潟県主催の首都圏大規模インバウンド商談会への参加や、国内ランドオペレーター、日本コンシェルジュ協会へのFAMトリップを実施した。

加えて、近年増加傾向にあるFIT（海外個人旅行）の誘客促進として、SNSによるインバウンド向け情報発信の充実を図った。

- ・首都圏大規模インバウンド商談会への参加および現地旅行会社セールス
 商談件数：7 件
 旅行会社訪問数：4 件

- ・FAM トリップの実施
実施回数：3回

- ・インバウンド向け SNS 情報発信
記事投稿件数：36 件（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
フォロワー数：12,000 人（令和7年3月27日時点）※前年度 11,000 人

<台湾現地旅行博の出展およびセールスコールの実施>

新潟県国際観光推進課および市観光推進課と共同で、台湾で実施された旅行博に出展するとともに、現地旅行会社へのセールスコールを実施した。

- ・台湾「日本東北遊楽日 in 台北 2024」の出展およびセールスコール
B2B 商談件数：16 件
旅行会社訪問数：6 件
- ・台湾現地旅行会社セールスコール
実施回数：1 回（9 月実施）
旅行会社訪問数：8 件

<スキーバス運行補助事業>

新潟市に宿泊し、新潟空港から県内スキー場への不定期路線バスの運営体制の整備、経費の一部助成を行い、韓国・台湾からの誘客増進を図った。

- ・新潟市人泊数：123 人泊

（参考）外国人延べ宿泊者数

年	令和6年（人）	令和5年（人）	対前年比（人・%）	
新潟市	112,967	76,289	36,678	148.1%
新潟県	528,590	345,140	183,450	153.2%

※観光庁「宿泊旅行統計調査」（暦年）に基づく新潟市推計

（7）旅行商品造成報奨金交付事業 **4,344,590円**

外国人観光客の新潟市内宿泊の促進のため、台湾・韓国・中国・シンガポールからのツアーに対し、旅行商品造成報奨金を交付した。

<交付により造成された旅行商品の泊数>

- ・台湾：1,020 人泊、韓国：2,829 人泊、中国：827 人泊

3. 観光客受入環境整備事業

（1）新潟駅観光案内所等管理・運営事業 **25,818,773円**

令和6年3月1日に、新潟駅万代口より新潟駅構内に移転。JNT0認定カテゴリ2の観光案内所として、国内外のお客様に新潟市および広域エリアの観光情報を提供した。また大型LEDビジョンやサイネージを活用し、MICE開催時の歓迎メッセージを表示するなど多角的な情報発信を実施した。

<新潟市観光案内センター 案内実績>

	案内人数	対前年度比	
窓口	226,732人	+174,769人	436.3%
うち外国人	4,426人	+1,448人	148.6%
電話問い合わせ	703人	-185人	79.2%

<外国人案内実績>

国籍	案内人数	対前年度比	
1. 台湾	997人	+407人	169.0%
2. 中国	648人	+367人	230.6%
3. アメリカ	536人	+82人	118.1%
4. 韓国	420人	+226人	216.5%
5. シンガポール	323人	+25人	108.4%
6. 香港	280人	+16人	106.1%
7. オーストラリア	215人	+59人	137.8%
8. フランス	154人	+31人	125.2%
9. タイ	92人	+20人	127.8%
10. カナダ	78人	+5人	106.8%
その他42ヵ国	687人	+210人	144.0%
合計	4,430人	+1,448人	148.6%

(2) 地域内連携推進事業

50,000円

賛助会員向けに、新潟市内・周辺地域の観光やコンベンションに関する情報提供、及び当協会の活動状況などを広報するための「賛助会員専用ウェブサイト」を運用するなど、賛助会員との積極的な交流に努めた。

また、賛助会員を対象とした研修会を開催し、観光関連事業者の研鑽と受入体制の更なる充実に努めた。

<賛助会員セミナー開催>

- ・開催日：令和7年2月19日（水）
- ・会場：万代シルバーホテル「千歳の間」及びオンライン参加
- ・テーマ：「インバウンド時代を見据えた SNS 活用と受け入れ施策のポイント」
- ・講師：株式会社 Beyond マーケティングソリューション事業部
プロデューサー 長谷川 千華 氏
- ・参加者：会場 24 名、オンライン 22 名

(3) 地域魅力発見事業

809,962円

第73回新潟市観光写真コンクールを実施し、新潟市の観光振興に広く活用できる写真の募集・選出を行った。併せて入賞作品展を開催し、新潟市の観光魅力の周知を図った。

<コンクール概要>

- ・応募人数：121人
- ・応募作品数：367点
- ・入賞作品数：29点

<入賞作品展>

- ・古町ルフル広場 展示期間：令和7年4月25日（金）～6月1日（日）
 - ・新潟ふるさと村 展示期間：令和7年4月25日（金）～5月31日（土）
- 他、新潟市観光案内センター、新潟古町まちみなど情報館サイネージでも作品を放映

(4) 観光ガイドブック発行支援事業

1,600,000円

新潟市中心部の飲食店等を掲載した新潟シティ・グルメガイドブック「ようきなった」の作成に協力し必要部数を購入するとともに、コンベンション参加者や市内ホテル、関係各所へ配布し、来訪者への情報提供と地域内消費の促進に努めた。

(5) にいがた観光タクシー利用促進事業

95,800円

観光客に対するタクシーのサービス内容の向上を目的として、万代タクシー(株)、都タクシー(株)、第一タクシー(株)、新潟第一交通(株)の4社とで協議会を組織し、乗務員の観光地の視察研修を実施するとともに、配布しているチラシをインバウンドでも利用できるよう案内に英文を追加するなどの改訂を行い作成した。

(6) 観光客おもてなし態勢整備事業

4,790,531円

新潟空港を利用する旅行者に対し、新潟市のプロモーションやおもてなし感の醸成を目的に、新潟空港内に大型LEDビジョンを設置し、観光促進に繋がる映像を放映した。

(7) その他

1,170,582円

<西堀大型バス駐車場 管理・運営>

- ・利用台数：537台（前年度416台）

<誘客イベント支援>

- ・食と花の世界フォーラム新潟
- ・にいがた総おどり
- ・佐渡世界遺産応援企画 SADO プライド

1. コンベンション誘致事業

(1) コンベンションセールス事業

3,088,520円

地元新潟市内・県内の学術機関(大学等)、各種団体支部への誘致活動、情報収集を行うとともに、首都圏のコンベンション主催団体へ誘致セールス(延べ205箇所)を行った。

また、地方都市コンベンション関連団体との合同セールスや、合同ワークショップを首都圏で開催し、コンベンション主催者や旅行エージェント等に新潟のコンベンション開催環境をPRのうえ新潟開催を依頼した。

<地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップ>

○第1回(新潟、松本、岐阜、びわこ、高松、郡山、宇都宮、盛岡)

- ・期 日：令和6年7月23日(火)
- ・会 場：ホテルグランドアーク半蔵門
- ・参加学協会：21団体34名

○第2回(新潟、松本、岐阜、びわこ、高松、郡山、宇都宮、つくば、和歌山)

- ・期 日：令和6年11月19日(火)
- ・会 場：シンフォニークルーズ船内
- ・参加学協会：28団体52名

○第3回(新潟、松本、岐阜、びわこ、高松、郡山、宇都宮)

- ・期 日：令和6年3月5日(水)
- ・会 場：ホテルグランドアーク半蔵門
- ・参加学協会：19団体28名

<東北地区コンベンション推進協議会>

東北地区のコンベンションビューロー(青森・弘前・八戸・秋田・横手・盛岡・仙台・気仙沼・山形・米沢・庄内・福島・郡山・会津若松・新潟・長岡・上越)で構成される協議会に参加し、新潟及び東北の連携を強化することとともに、コンベンション誘致・支援に係る情報交換、コンベンション開催情報収集を行った。また首都圏で開催された東北地区合同の商談会にブース出展し、首都圏のコンベンション主催者に新潟でのコンベンション開催をPRした。

○定例総会

- ・期 日：令和6年7月25日(木)～26日(金)
- ・会 場：コラッセふくしま

○職員研修会

- ・期 日：令和6年10月17日(木)～18日(金)
- ・会 場：弘前市立観光館

○東北地区MICE誘致商談会

- ・期 日：令和6年11月26日(火)
- ・会 場：都市センターホテル
- ・参加学協会：29団体41名

<キーパーソン招聘>

新潟県外・市外に在住のコンベンション主催者を招請し、市内のコンベンション施設・ホテル・観光施設などの視察を実施するとともに、開催補助金や各種支援制度を説明し、新潟開催を依頼した。

- ① 視 察 者：長岡技術科学大学：教授、秋田大学：准教授、北海道大学：助教
視 察 日：令和6年4月23日（火）～24日（水）
視察箇所：朱鷺メッセ、ホテル日航新潟、ピア Bandai、今代司酒造、古町芸妓 他
誘致案件：ISHOC2026（高温酸化腐食に関する国際会議 2026）
- ② 視 察 者：(株)カンファレンスサービス
視 察 日：令和6年5月20日（月）
視察箇所：朱鷺メッセ、ホテル日航新潟
誘致案件：CSS（Computer Security Symposium）
- ③ 視 察 者：中央労働災害防止協会
視 察 日：令和6年6月12日（水）、8月28日（水）、令和7年2月12日（水）
視察箇所：朱鷺メッセ、ホテル日航新潟、ANA クラウンプラザホテル新潟 他
誘致案件：全国産業安全衛生大会
- ④ 視 察 者：東北大学：教授、日本原子力研究開発機構、電力中央研究所
視 察 日：令和6年6月21日（金）、10月2日（水）
視察箇所：朱鷺メッセ、ホテル日航新潟、北方文化博物館、今代司酒造 他
誘致案件：ICG-EAC（International Cooperative Group on Environmentally-Assisted Cracking）
- ⑤ 視 察 者：東京大学：准教授、早稲田大学：准教授、日本ガスタービン学会事務局
視 察 日：令和6年10月9日（水）～10日（木）
視察箇所：朱鷺メッセ、ホテル日航新潟、北方文化博物館、東新潟火力発電所 他
誘致案件：日本ガスタービン学会定期講演会

<訪日インセンティブ旅行誘致>

訪日意欲が盛んな台湾の旅行会社を訪問し、新潟の開催環境や観光スポット、体験プログラムなどのPRを行うとともに、台湾市場からのインセンティブツアー誘致に努めた。

○台湾旅行会社セールス

- ・期 日：令和7年2月24日（月）～27日（木）
- ・訪問件数：10社

<国際MICEエキスポ2024出展>

主に首都圏や海外のMICE主催者との商談を目的とした「国際MICEエキスポ2025」に新潟県、朱鷺メッセとともに出展し、国際会議観光都市・新潟の開催環境をPRするなど誘致を図った。

- ・期 日：令和7年2月13日（木）
- ・会 場：東京国際フォーラム
- ・商談件数：計18件（総来場者数：セラー89団体、バイヤー438名）
- ・主 催：日本コンGRES・コンベンション・ビューロー、日本政府観光局

<JCCB 総会及びコンベンションビューロー部会、中部コンベンション連絡協議会参加>

観光庁の施策への認識を深めることや、全国のコンベンションビューローの成功事例、学会開催等の情報収集、人脈づくり、コンベンションや観光に関するスキルアップなどを目的として各種会議・研修会等に参加した。

○JCCB 総会

- ・期 日：令和6年6月24日（月）
- ・会 場：品川プリンスホテル（東京都）

○中部コンベンション連絡協議会

- ・期 日：令和6年9月26日（木）～27日（金）
- ・会 場：富士市文化会館（富士市）

○JCCB ビューロー部会

第1回

- ・期 日：令和6年7月17日（木）～18日（金）
- ・会 場：まなびの館ローズコム、福山ニューキャッスルホテル（福山市）

第2回

- ・期 日：令和6年12月5日（木）～6日（金）
- ・会 場：水戸市民会館（水戸市）

2. コンベンション開催支援事業

（1）MICE誘致推進事業

39,496,611円

都市間のコンベンション誘致競争が激化する中で、開催補助金をはじめ、充実した主催者サポート体制を通じて、MICE開催の回復と参加者の消費行動の促進を図った。

<コンベンション開催実績>

	国内	国際	合計	対前年度比
開催件数	180件	19件	199件	+27件
参加人数	75,256人	36,409人	111,665人	+16,013人

<コンベンション開催補助金実績>

	コンベンション開催補助金
申請件数	92件
交付件数	70件
交付額	37,936,397円

(2) コンベンション開催準備資金貸付事業(Ⅱコンベンション事業に含まず) 2,000,000円

新潟市で開催されるコンベンションの主催者に対し、その円滑な運営と成功に寄与するための開催準備に要する資金の貸付を行った。

＜貸付実績＞

- ・主催団体：国際交流姉妹校による自然科学に関する国際会議組織委員会
- ・会議名称：国際交流姉妹校による自然科学に関する第5回国際会議（ICNS2024）
- ・会 期：令和6年9月26日～28日
- ・会 場：朱鷺メッセ
- ・貸付金額：2,000,000円（令和6年12月3日返済確認）

(3) コンベンション開催助成事業 1,100,947円

コンベンション開催時の伝統芸能等のアトラクションに対する助成及び、新潟市内のエキスカッションにおいて、貸切バス・貸切タクシー・水上バスを利用する場合の助成を行い、伝統芸能のPRと活用、市内観光の促進を図った。

- ・交付件数：14件(伝統芸能9件、エキスカッション5件)
- ・交 付 額：伝統芸能805,047円、エキスカッション295,900円

(4) コンベンション開催支援事業 854,699円

新潟市で開催されるコンベンションの主催者に対し、開催に必要な助言・サポート、及びコンgresバッグなどの提供を行い開催を支援した。

また、県外からの参加者が500人以上のコンベンションに対し、新潟駅、新潟空港に歓迎サイネージを掲示するとともに、開催会場に「にいがた観光親善大使」を派遣し、歓迎挨拶や観光PRなどを行い参加者に対する歓迎機運の醸成を図った。

- ・歓迎サイネージ掲示件数：116件／にいがた観光親善大使派遣件数：22件

(5) その他 1,382,939円

新潟市で開催されるコンベンションの開催情報を取りまとめ、コンベンション開催予定一覧表にして賛助会員及び一般向けにWEBサイトで公開した。

また、MICE主催者及び参加者に新潟での開催環境についてや、消費額に関するアンケート調査を実施し、参加者による直接経済効果を測定した。

- ・参加者一人当たりの平均消費額：約43,000円
- ・令和6年度新潟市で開催されたMICE（学会、大会・会議、競技会・コンクール）における参加者111,665人による直接経済効果は、約48億円（推計）

3. 文化・スポーツコミッション事業

(1) 大会等誘致推進事業

1,329,458 円

大会や合宿、イベント等の誘致のセールス活動や関係者の視察受入れを行った。

<関係団体へのセールス活動>

- 県内競技団体、文化団体へヒアリング、セールス活動（主に5～6月、11～12月）
- 首都圏の中央競技団体、文化団体へヒアリング、セールス活動（5～12月、48団体訪問）
- 大規模展示会、イベント等への出展、ポスター・パンフレット設置
 - ・Japan Sports Weeks 2024（7月5日 東京ビッグサイト）
 - ・SPORTEC 2024（7月30日～8月1日 東京ビッグサイト※ポスター、パンフ設置のみ）
 - ・レジャー&スポーツジャパン 2025 in Okinawa（2月20日～21日、沖縄コンベンションセンター ※ポスター、パンフ設置のみ）

<大会・合宿開催のための競技団体視察受入れ>

- 日本スケート連盟
 - ・ジュニアナショナルチームコーチ1名（6月1日～2日、MGC三菱ガス化学アイスアリーナ他）
- 日本車いすバスケットボール連盟
 - ・事務局次長 他 計2名（6月19日、1月15日、新潟市西総合スポーツセンター他）
- 日本カーリング協会
 - ・事務局担当者 1名（7月1日、MGC三菱ガス化学アイスアリーナ他）
- 日本アイスホッケー連盟
 - ・強化部長 他 計2名（7月19日、MGC三菱ガス化学アイスアリーナ他）
- 日本体操協会
 - ・事務局長 1名（1月21日、新潟市民芸術文化会館、朱鷺メッセ他）

<開催が決まった大会・合宿等>

- ・ショートトラック NF チーム、ジュニアナショナルチーム強化合宿（令和6年7月13日～20日）
- ・2024年度東日本車いすバスケットボール選抜大会（令和7年3月22日～23日）
- ・第30回全日本オールドタイマーアイスホッケー大会 Over-50（令和7年4月25日～27日）
- ・第45回日米大学野球選手権大会（令和7年7月11日～12日）
- ・デフバスケットボール男子日本代表合宿（令和7年7月26日～27日）
- ・高円宮賜杯第45回全日本学童軟式野球大会（令和7年8月11日～17日）
- ・第20回全日本ハイシニアソフトボール大会（令和7年9月25日～29日）
- ・全日本吹奏楽コンクール 大学の部、職場・一般の部（令和7年10月25日～26日）
- ・第18回全国専門学校バスケットボール選抜大会（令和7年12月8日～11日）

(2) 受入支援事業

1,221,725 円

大会等の開催や合宿の実施に際し、受入の支援や歓迎ムードの醸成を行い、主催者や参加者が円滑に大会運営が出来ることでリピート開催に繋がるよう努めた。

<特に支援した大会・合宿>

- ・第45回全国少年少女躰道優勝大会第42回全国高校生躰道優勝大会
期 間：令和6年7月27日（土）～28日（日）
参 加 者：392人（うち県外参加者341人）
会 場 等：新潟市体育館
支 援 内 容：にいがた観光親善大使派遣、のぼり旗による歓迎等

- ・第32回全日本古希軟式野球大会
期 間：令和6年10月11日(金)～15日(火)
参 加 者：1,037人(うち県外957人)
会 場 等：HARD OFF ECO スタジアム新潟 他
支 援 内 容：開会式でのアルビレックスチアリーダーによる演出等
- ・2024年度東日本車いすバスケットボール選抜大会
期 間：令和7年3月22日(土)～23日(日)
参 加 者：120人(うち県外83人)
会 場 等：新潟市西総合スポーツセンター
支 援 内 容：車いすバスケットボール体験会、観光PRブースの設置等

<大会・合宿 開催実績>

- ・令和6年度大会・合宿開催件数：100件、参加者数68,866人(うち県外29,572人)

(3) 誘客促進事業

2,352,331円

集客力のあるイベントをコンテンツとして誘客を促進するとともに、新潟市のPRを関係機関と連携して実施した。

<マラソン等誘客事業>

令和7年度シティマラソンにおける海外ランナー誘客を目的に、台湾現地旅行社の商品造成担当者を新潟へ招請し、新潟マラソン当日の様子や市内主要観光スポットを案内した。併せて台湾の現地旅行社を訪問し、次年度のツアー造成と送客依頼のセールス活動を行った。

○台湾旅行社招請事業

- ・期 日：10月12日(土)～15日(火)
- ・招 請 者：4社4名
- ・視察箇所：新潟シティマラソン会場、今代司酒造、旧斎藤家別邸 他

○台湾旅行会社セールス

- ・期 日：2月24日(月)～27日(木)
- ・訪 問：現地旅行会社/10社(うち6社が次年度のツアー造成を検討)

<Jリーグサポーター誘客事業>

アルビレックス新潟と連携し、Jリーグサポーターに向けた来訪促進活動を実施した。

○アウェイチームのサポーターを抽選で50人、ビッグスワンでの試合観戦に招待する取り組みを実施

- | | |
|-------------------------|-----------|
| ・5月 3日(金・祝) 対サンフレッチェ広島戦 | 申込総数 143人 |
| ・8月 12日(月・祝) 対京都サンガFC戦 | 申込総数 120人 |
| ・11月 30日(土) 対ガンバ大阪戦 | 申込総数 947人 |
| ・3月 8日(土) 対東京ヴェルディ戦 | 申込総数 710人 |

<マンガ・アニメ、eスポーツ誘客事業>

マンガ・アニメ、eスポーツを活用した誘客や新潟のPRを行った。

○「新潟国際アニメーション映画祭 参」開催協力

- ・期間：令和7年3月15日(土)～20日(木)
- ・内容：新潟市観光案内センターサイネージやSNS、WEBサイト等での広報協力。関係機関との調整。

- 「Akiba.TV」視察受入
 - ・受入期間：令和7年3月20日（木）～21日（金）
 - ・内 容：マンガ・アニメ系イベントをフックとしたインバウンド誘客とその連携を見据えて、市内の文化的なイベントやスポットの視察を実施。
 - ・視察箇所：国際アニメーション映画祭、ガタケット、マンガアニメ情報館
- 一般社団法人新潟県eスポーツ連合設立支援
 - eスポーツに係るイベントをフックとした新潟市への誘客の加速化を図ることを目的として同支部の立ち上げをサポートした。
 - ・設 立：令和7年2月14日
 - ・内 容：設立に向けて新潟市内関係機関との調整

<その他>

- 「スポーツによる地域活動支援プロジェクト」への協力
 - 日本スポーツツーリズム推進機構及び金沢文化スポーツコミッションと連携し、能登半島地震で被災したスポーツ活動が困難な子どもたちのスポーツ合宿を受け入れた。
 - ・期 間：令和6年11月2日（土）～11月4日（月・祝）
 - ・受入団体：小学生バレーボールチーム「能登島ジュニア」選手10名、監督・コーチ4名、関係者9名
 - ・内 容：新潟市内のバレーボールチームと練習会及び交流会を実施。最終日は「新潟せんべい王国」や「新潟ふるさと村」を観光

（4）広報活動事業 0円

文化・スポーツコミッションウェブサイトやFacebook、Twitterを運用し、開催される大会・イベント等の広報協力や、事業のPRを行った。

- ・ウェブサイト：表示回数 39,580件
- ・Facebook：投稿 18回、総インプレッション数 1,919件
- ・X（旧Twitter）：投稿 3回、総インプレッション数 2,002件

（5）その他 600,914円

<事務費>

備品・消耗品類の購入、電話代、郵便料、コピー代等

1 理事会

第1回通常理事会（決算）

・期 日：令和6年6月21日（金）

※書面によるみなし決議

第2回通常理事会（予算）

・期 日：令和7年3月12日（水）

・会 場：ホテルイタリア軒

2 評議員会

第1回評議員会（決算）

・期 日：令和6年6月28日（金）

※書面によるみなし決議

第2回評議員会（予算）

・期 日：令和7年3月26日（水）

・会 場：ホテルイタリア軒

3 各団体加入負担

社団法人新潟県観光協会及び大都市観光協会連絡協議会、新潟県国際観光テーマ地区推進協議会などに加入し、引き続き情報収集を行うとともに、連携して対外宣伝と誘客に努めた。

4 事務局管理費

公益財団法人会計を適正に執行するため、引き続き税理士法人さくら総合会計と予算執行予算の執行管理、及び予算・決算等の資料作成にかかる業務契約を締結した。

5 新規加入賛助会員 当初会員数 〈団体会員〉 278 社

新規入会

〈団体会員〉 3社

- ・株式会社Beyond
- ・有限会社がんこ屋
- ・株式会社ナレッジリンクス

退 会

〈団体会員〉 25社

期末会員数

〈団体会員〉 256社